

●受難節第二主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第一三〇編」

イスラエルよ、主よ待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。



## 真に光輝きを放つものは

イスラエルの民の一員として生まれながらも、不思議な導きによって、エジプト王女の息子として王宮に迎えられたモーセ。その環境は、あらゆるもので満ち溢れ、誰もが羨むような華やかな暮らしがある、栄華の極みでした。

人は、富や地位を手放したくないと思うものです。物質的な豊かさは、不自由な生活や将来の安泰を約束してくれるように思うからです。一方、それらを失うとすれば、不安や恐れが押し寄せてきます。特に一度でも贅沢を味わうと、僅かな犠牲さえ痛みに感じます。富捨てるのは容易ではありません。しかしモーセは40歳のとき、計り知れない富も地位も名誉も置いて、王宮を立ち去るのです。

エジプトは繁栄の裏側で、イスラエルに肉体労働を課していました。常に監視し、鞭で打ち叩き、犠牲にし、搾取していたのです。モーセの食事や衣服、日常生活の全てが同胞の血と汗の結晶として差し出されていました。罪と悪の中に身を置き、良心の呵責を覚え続ける日々だったと思います。自らの富や安楽を望む人々に流されることなく、何が良いことなのか、本当に正しいことなのかと真剣に葛藤し続けるモーセ。真実な生き方を追い求めていたのです。ついに罪と悪の側にいることに耐えられず、同胞と共に虐げられる道へと進んでいきます。

エジプト人から酷い目に遭っている同胞が目に見え込んできました。モーセはその姿に心動かされ、彼を打っていたエジプト人を打ち殺し、亡骸を砂の中に埋めたのです。反撃されて、命を落とすことだつて十分にあり得る中、傍観せず、彼をかばいました。自らの危険をかえりみず、何とか助けてあげたいと思いやる心が伝わってきます。

しかし、物事は彼の思い通りには動きません。翌日、今度は同胞同士が争っている場面に遭遇すると、モーセは仲裁に入り、悪い方の人を論じたのです。ところが、その人はモーセを突き飛ばし、拒むのです。ファラオもモーセを殺そうと探し回っていました。もはや居場所を失い、一人荒野を越えて、ミディヤンの地へと逃れていきます。尊い志を抱き、同胞のことを思い、行動した、彼を待ち受けていたのは、無理解と拒絶、失敗と挫折でした。しかし、全てを捨て去り、同胞のために自らを犠牲にし、真実を尽くすモーセの姿は、この世の財宝、栄華よりも遥かに光輝くものです。

主イエスキリストは、天の御座を離れ、貧しい馬小屋でお生まれになりました。人を悪しき国からではなく、人を罪から救い出すために、十字架の道を歩まれたのです。主は真実な御言葉や振る舞いが人々に理解されず、何度も反抗を受け、命を狙われても、揺るぎなく進まれます。最後は人々に捕らえられ、十字架に磔にされ、悪口や侮辱を浴びせられても、最後の最後まで耐え忍びました。人のために、いけにえとなられたのです。教会は、主イエスの恵みと真実のみわざにより、この世から贖い出されたものたちです。

今日の世界も、富や名声を求める価値観にあふれています。しかし十字架の主を知る教会は、人を犠牲にして自分の利益を求める生き方に違和感を覚えるはずですが、モーセが不義の中にあることに耐えられなかったように、わたしたちも罪の中にとどまることはできません。受難節のこの時、わたしのために死なれた主イエスを思い、真実に生きる道へと進んでいきましよう。たとえ損をしても、人のために尽くす道を一筋に歩んでいきたいと願います。

# 公 告

左記により、三月教会総会を開催いたします。  
現任陪餐会員はご出席下さい。

## 記

キリスト品川教会  
代表役員 黄允滉

日時 3月16日(日) 12時30分(目途)から  
場所 キリスト品川教会地下ホール及びリモート  
議題

一 2025年度教会全体課題案に関する件  
二 2025年度教会行事予定案

三 2025年度主日および週間集会予定案

四 2025年度教会一般会計予算案

五 2025年度地域センター会計予算案

六 2025年度グローリア・チャペル  
経費管理会計予算案

経費管理会計予算案

七 2025年度附属幼稚園会計予算案

八 2025年度グローリア・チャペル  
施設管理会計予算案

施設管理会計予算案

※議員資格 満18才以上の現任陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現任陪餐会員  
と不在会員、教員でない附属幼稚園教諭は、教会総  
会に陪席することができます。

(キリスト品川教会教規第3章第14条より)

## 《今日のお知らせ》

○ 三月総会を一二時三〇分から地下ホールで行い  
ます。

○ 役員選挙の投票は一二時三〇分締め切りです。

その時刻までに事務所横にある投票箱にお入れ  
ください。

○ 受難節を過ごしています。この一年、受けた恵

みを原稿用紙二枚(八〇〇字)以内でお書きい  
ただき、ご提出ください。メールでの提出も受  
け付けます。アドレスは [Tent@gloria-chapel.com](mailto:Tent@gloria-chapel.com) です。

com」です。

○ 二〇二五年度の十分の一献金袋を配布しました。

○ 二〇日(木)新旧役員会、組織会を地下ホールで

行います。新旧役員とスタッフはお集まりくだ  
さい。

## 《ぶどうの会より》

本日のぶどうの会は休会です。

## 《コイノニアキャンプについて》

・日時：七月二十六日(土)から三〇日(水)

・場所：台湾・高雄新興教会

・参加費：一人七万円(高校生以上の学生、二〇代の教

員には補助があります。)

・申込期間：四月二〇日(日)まで

お申し込み書は事務所にあります。

## 《献金のお願い》

コイノニアキャンプのための献金にご協力をお願い  
いたします。献金袋は事務所窓口横にご用意しております  
ので、ご利用ください。皆さまのお祈りと献金を通して、  
コイノニアキャンプをお支えください。

## 《シオンの会より》

三月一九日(水) 一〇時三〇分～一二時シオンの会を  
第二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用  
します。) テキスト「聖書が教える世界とわたしたち」P.  
一五七世の終わり新しい世界から読みます。参加をご  
希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

※このテキストは今月で読み終わり来月からは川崎公平  
先生著「使徒言行録を読もう」に入ります。四月二日水  
曜日からです。(通常第三水曜日ですが受難週の関係で  
四月は一週目になります)

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇三三〇篇】

都に上る歌。

深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。

主よ、この声を聞き取ってください。

嘆き祈るわたしの声に

耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら

主よ、誰が耐ええましよう。

しかし、赦しはあなたのもとにあり

人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき

わたしの魂は望みをおき

御言葉を待ち望みます。

わたしの魂は主を待ち望みます。

見張りが朝を待つにもまして

見張りが朝を待つにもまして。

イスラエルよ、主を待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

〔司・会〕

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「万軍の主に頼る」

聖書 サムエル記上17章43〜50節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「ダビデを助けた人」

聖書 サムエル記上20章35〜42節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 138番 153番

説教 「釘跡に、脇腹に手を入れなさい」

聖書 ヨハネ20章19〜31節

説教者 黄允湜 牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 143番 225番  
説教 「イエス・キリストの証人」  
聖書 使徒1章1～11節(新約 P.213)  
司式 石川 一兄  
聖餐司式 黄允湜 牧師  
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「羊は安らかに草を食み」 J.S.バッハ

### ○讃美歌143番

1. 十字架をあおぎて ぬかずくときに  
まさりてとうとき おりこそあらね
2. ここよりしたたる めぐみの水は  
枯れにしこの身の いのちなりけり
3. おもえばみくには ここにぞ成れる  
のろいをさかえに 主はかえませり
4. せいなるかなしみ ころろにせまり  
なみだとあふれて み足をひたす
5. のぞみはあらたに ここより湧きて  
つみとがおそれは あとだにあらじ
6. あおくもあしこき すくいのみみの  
十字架はもとより いかでか離れん

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「み使いくだりて」 Garry A. Cornell作曲  
ひとり十字架を負い 歩みゆく主  
すべての人に自由 与えるため  
この世の十字架を われらも負い  
み跡 踏ふみ行(ゆ)かん 旅路終わるまで  
あゝイエスわが主 われ待ち望む  
み使いくだりて 救いきたる日  
とうとき主の十字架 栄光の冠(かむり)  
よみがえりの日 救いの日よ  
あゝイエスわが主 われ待ち望む  
み使いくだりて 救いあらわる日  
よみがえりの日

### ○讃美歌225番

1. すべてのひとに のべつたえよ  
かみのたまえる みおとずれを  
あめなる父は み子をくだし  
すくいのみちを ひらきませり
2. あまねくのべよ よき知らせを  
まことの幸を もとめつつも  
むなしきものに さそわれゆく  
世のはらからに のべつたえよ
3. 十字架のうえに 死にたまえる  
み子こそ永久の すくいなれや  
かみのたまえる この知らせを  
地のはてまでも 告げひろめよ

アーメン

聖餐曲「なぐさめ」 F.リスト

後奏曲「マエストロズ」 M.E.ポツ

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。